

◆企画名	<u>KUコアラ 春の古本まつり</u>
日 程	<u>2024年5月13日(月)~17日(金) 12:20~12:50</u>
場 所	<u>千里山キャンパス凜風館1階ピアエリア</u>
参加者数	<u>21名(ピア・サポート3名、研修生5名、一般学生13名)</u>

## 目的

学内で本に触れる機会を増やすことで、参加者に読書への興味あるいは関心を深めてもらうこと。また、この機会にKUコアラについて知ってもらうことで、新メンバーの獲得に繋げることを目的とする。

## 内容

読まなくなつた本を交換し、新しい本との出会いの場をつくる企画である。本の持ち込みの有無にかかわらず、古本の持ち帰りは可能とした。

各日程の参加者は以下の通りである。

5/13(月): 0名  
5/14(火): 4名  
5/15(水): 3名  
5/16(木): 5名  
5/17(金): 1名

企画初日はKUコアラメンバーが本を用意したが、他コミュニティの学生及び一般学生からも本を集めた。

古本を持ち込んだ参加者には、ピアエリアで古本に挟み込むメッセージカードを作成してもらった。メッセージカードには本のおすすめポイントを記載した。

新たな持ち主がメッセージカードの挟まれた古本を受け取ることで、文面上の交流を図ることができると考え、KUコアラメンバーが持参した本も、同様にメッセージを記載した。



## 効果

- ・本イベントを実施することで、KUコアラメンバー及び参加者にとって、新たな本との出会いの機会をつくることができた。
- ・メッセージカードを通して、本の元の持ち主と、新しい持ち主になる学生同士の交流を図ることができた。
- ・アンケート結果によると、「この企画をきっかけに新しい本を読んでみようと思いましたか?」「またこのような企画があれば参加してみたいですか?」の2つの質問に対して、参加者全員が「はい」と回答する等、この企画に対する満足度の高さがうかがえた。

## 改善点

- ・ポスターでの広報については、現在掲出している場所だけでは周知に限界があるよう感じた。  
→学舎の中にもポスターを貼る等、ターゲット層である学生の目により触れやすい媒体や場所での広報が必要である。  
(アンケートから参加者の傾向を確認し、例えば文系、理系など極端に参加率が低い学部の学舎にポスターを掲示してみるなど)
- ・イベントの開催場所が分かりにくい。ピアエリアが近づきにくい。  
→もっと目立つような設営をする必要がある。例えば、ピアエリアの前にもポスターや看板などを設置し、通りすがりの人にも立ち寄ってもらえるような設営を考え、工夫する。また、ピアエリアのカーテンを上げるなど、学生ラウンジを利用する学生の目に留まりやすいように工夫をする。
- ・本を机に並べる時、ジャンルごとに並べるべきだった。  
→ジャンル名を書いた紙を横に並べておくことで、参加者もどのような本があるのかが分かりやすく、本を手に取ってもらいやすいのではないかと考える。  
また、メッセージカードのほかに、その本の印象的なフレーズなどを記載したポップを用意し、パッと見て参加者の目を引くような工夫をする。

## 感 想

- ・1週間、昼休みでの実施としたため、参加したくてもスケジュールが合わないという人はいなかったと考えられるので、これまでKUコアラを知らなかった人にも認知してもらうきっかけをつくることができた。
- ・メッセージカードを通して、本の元の持ち主と交流できて良かった。
- ・KUコアラメンバーも、これまで読んだことのない本に触れられて良かった。
- ・KUコアラの認知度が上がれば、イベント規模を拡大し、来場者も増やすことができると考えられるため、今後は積極的に広報に力を入れていきたい。

